



## クラウドサービスでのソフトウェアライセンス発行とエンタイトルメント (権限) 管理の提供

### 機能

- ・ 高度なサービスカタログ定義
- ・ サービス契約のプロビジョニングの自動化
- ・ ユーザ権限を機能レベルで付与
- ・ サービスカタログおよび価格設定モデルの再設定にリエンジニアリングが不要
- ・ 詳細なサービス利用状況の追跡とレポート作成
- ・ バックオフィス統合
- ・ SaaSおよびオンプレミスアプリケーションの集中管理

### 利点

- ・ サービス契約の順守
- ・ 製品の多様性
- ・ ビジネスアジリティ (俊敏性)
- ・ 運用の自動化
- ・ ビジネスインテリジェンス
- ・ サービスその他の方法で提供される、あらゆるソフトウェア収益化機能に対する単一のソリューション

### Sentinel® Cloud Services — クラウドでのソフトウェア収益化

Sentinel® Cloud Servicesは、ソフトウェアライセンス発行およびエンタイトルメント管理で業界が認めたSafeNetの経験をクラウドに対応しました。SaaSプロバイダは、ユーザアクセス権限の機能レベルでの付与、請求書作成やビジネスインテリジェンスに使用するサービス利用状況の測定、新しく進化した市場機会に素早く対応するためのサービスカタログの即時の適応が、迅速かつ容易にできるようになります。詳細な利用状況データはアプリケーションのすべてのインスタンスから収集され、利用記録の作成を促進し、優先順位および請求書作成ソリューションの自動化を促進して運用効率と精度を向上させます。

SaaSの早期導入者がすでに気付いているとおり、カタログの細分化、機能構築、価格設定モデルの適切な形を決定することは容易ではありません。時間と調査、さらに最も重要であるサービスカタログの柔軟性が必要です。従来のソフトウェア利用と同じく、ユーザがサービス契約の条件を確実に順守しなければ収益につながりません。SaaS以前は、データ収集がほとんどのライセンス発行およびエンタイトルメント管理システムの主要な機能であり、傾向を予測し十分な情報を得た上でビジネス決定を行うために使われていました。クラウドでは利用状況データは極めて重要であり、ビジネスインテリジェンスに使用するだけでなく、ビジネスに不可欠なプロセスである請求書作成などにも利用します。そのため、クラウドサービスプロバイダはサービス利用状況を容易に追跡および分析して、レポートを作成できる必要があります。

### 定義

機能レベルでのサービスカタログと価格設定モデルにより製品の多様性とビジネスアジリティを促進

### プロビジョニング

サービス契約により即座に運用効率を向上させ手動によるミスを軽減

### 制御

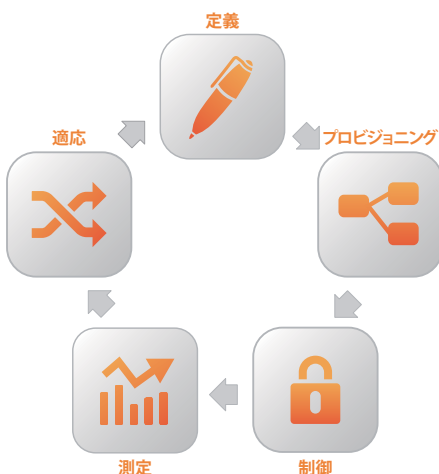
ユーザ権限を機能レベルで付与することによりサービス契約の順守が可能

### 測定

顧客の利用状況を測定することにより、ビジネスインテリジェンスと請求書作成をサポートし運用を単純化して戦略的な意思決定能力を向上

### 適応

エンジニアリングの改善が不要な即時のサービス提供と価格設定モデルにより、進化する市場需要に迅速に対応



# Sentinel Cloud Services でのソフトウェア販売での収益増大

2010年までに ISVから販売される新しい製品の65%は、SaaSサービスから提供されるでしょう。また、85%の新しいソフトウェア開発会社は、SaaSサービスでの製品の提供を検討するでしょう。

- IDC

2015年までには、全てのビジネスがCloudへ移行するであろう。

-Saugatuck Technology

2015年までに、65%以上の新しいビジネスアプリケーションが、クラウドもしくはハイブリッドをサポートするでしょう。

- Saugatuck Technology

## 高度なサービスカタログ定義

企業顧客は高度なライセンスモデルを介してソフトウェアを利用することに慣れていますが、同じアプリケーションがクラウドを通じて提供されるサービスに変わったとしても、顧客は同じように利用できることを希望します。そのため最大の収益を達成するには、クラウドサービスプロバイダはさまざまな独自の市場セグメントに達するようにアプリケーションを簡単かつ効率的にバンドルする柔軟性が必要です。Sentinel Cloud Servicesは、豊富なライセンスモデルをサポートする柔軟なフレームワークを特徴としています。Sentinel Cloud Servicesがあれば、企業顧客はさまざまな業務管理を利用できるようになり、クラウドサービスプロバイダはサービスカタログ、機能バンドル、ライセンスモデルを迅速かつ容易に作成し管理できます。高度なサービス提供を簡単に作成し維持管理できるような構成要素を持っているクラウドサービスプロバイダは、ビジネスを成長させるため、また貴重な研究開発リソースの焦点をコアサービス価値の提供に集約するため、必要なツールが備わっていることとなります。

## サービス契約のプロビジョニングの自動化

Sentinel Cloud Servicesを使うと、企業顧客は契約作成、有効化、変更に伴うプロビジョニングとサービス管理を単純化できます。サービス契約のプロビジョニングを自動化することによって、精密性の向上と運用コストの削減が可能になり、拡張性の高いライセンスソリューションが提供可能となります。標準のWebサービスインターフェイスを通じてバックオフィスシステムを接続することで、顧客の契約のライフサイクル全体が効率的に管理されるようになります。

## 機能レベルの権限付与

Sentinel Cloudは、機能レベルの制御によるサービス契約の順守を可能にします。またクラウドサービスプロバイダがサービスへの複数レベルのアクセスを容易に維持管理できるようにし、企業顧客がサービスの利用方法を最適化できるようにします。機能レベルの権限付与によって、クラウドサービスにプレミアム付きで新しい機能や非常に人気の高い機能を導入することが可能になるため、市場への適応性と収益性が最大限に向上します。

## 詳細なサービス利用状況の追跡とレポート作成

サービスプロバイダは、ソリューションの利用状況の追跡とレポート作成機能により、データを分析して傾向を特定することでビジネス上の意思決定能力を向上できるため、新たな市場機会に即座に対応できます。またSentinel Cloud Servicesは、利用状況のレポート作成が自動化できカスタマイズも可能なので、SaaSベンダの請求書作成プロセスも単純化します。

## サービスカタログと価格設定モデルの再設定にエンジニアリングの改善が不要

エンドユーザ要件、予算、経営目標は日々変化します。サービスカタログの柔軟性は価格設定と機能性のどちらにも、新たなビジネスチャンスを実現して顧客減少を防ぐために必要です。Sentinel Cloud Servicesの独自の設計により、SaaSプロバイダは権限管理システムで収集された利用状況データと動的な市場反応に基づいて、機能セットとビジネスモデルを即座に再設定できます。またサービスプロバイダは変化する市場の需要に即座に対応できます。

## SaaS およびオンプレミスアプリケーションの集中管理

集中型のライセンスプラットフォームを維持管理することで、SaaSとオンプレミスどちらの提供についても運用効率の向上と顧客使用感の改善を実現できます。単一の管理プラットフォームですべてのライセンス技術（SafeNetのライセンスで保護されたオンプレミスアプリケーション、自社のライセンスで保護されたオンプレミスアプリケーション、クラウドで提供されたサービス）を管理し、ソフトウェア発行者に顧客契約、利用状況、製品利用に関して一貫したビューを提供します。またSentinel Cloud Servicesにより、一貫した専門的かつユーザフレンドリーな方法で、単一のセルフサービスポータルを通じてあらゆるサービス提供にアクセス可能になります。これにより、エンドユーザの使用感の向上が可能になります。

## モバイル向けのSentinel Cloud Services

クラウドのアプリケーションは、パソコン、ラップトップおよびモバイル端末に限らず、全てのWeb接続デバイスのインターネットの接続機能に依存します。スマートフォンなどのモバイル端末の急速な進化により、ますますWebアクセスに依存するようになって、それらの最も需要の多い機能とアプリケーションが利用されます。Webでのモバイルデバイスで増加している配布方法は、ソフトウェアベンダーのモバイルマーケットへの参入を妨げています。Sentinel Cloud Servicesは、Webでのソフトウェアサービスのためのカタログ化、ライセンス発行およびライセンス管理をサポートすることが可能です。また、Sentinel Cloud Servicesは、モバイルアプリケーションのプロビジョニング、制御および使用方法を管理する機能を提供します。

## Sentinel Cloud Services のコンポーネント



Sentinel<sup>®</sup>CLOUD

### Sentinel Cloud SDK

8つの簡単なライセンスAPIを含むコンポーネントです。Sentinel Cloud SDKはライセンスを確認して、SCC経由での利用データのキャッシュを行います。

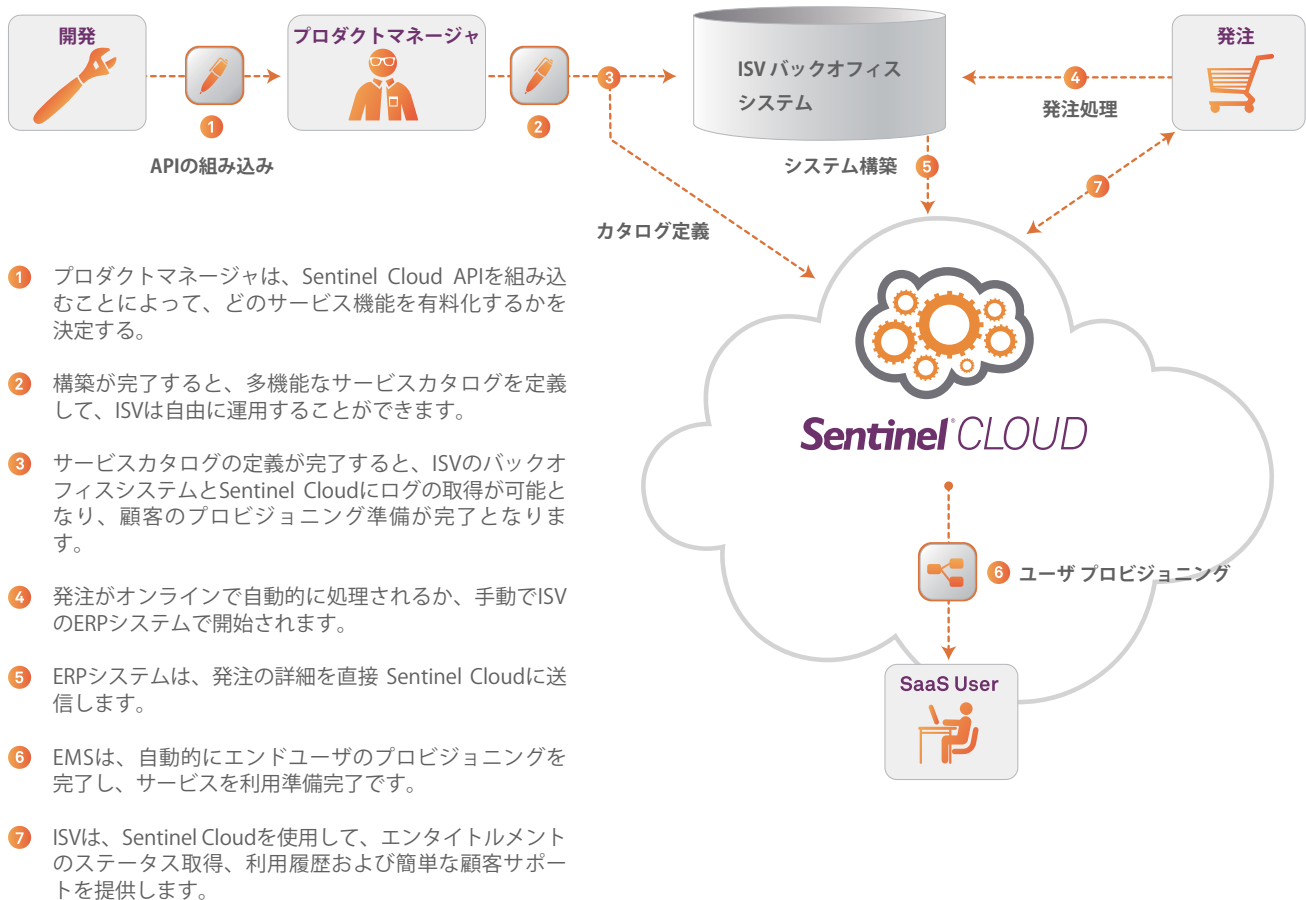
### Sentinel Cloud Connect (SCC)

SCCはサービスの契約、操作、利用履歴の収集、Sentinel Cloud Runtimeの管理、ユーザ認証通信、および一般的な設定を管理します。

### Sentinel EMS

ISV バックオフィス システムに接続して、Sentinel EMSは契約のプロビジョニング、管理レポート機能、サービスカタログ定義と顧客管理機能を提供します。

## サービスカタログの定義とプロビジョニング



## サービスの利用履歴とレポート



- 1 Sentinel Cloudは、全てのサービスの実行とログを取得します。
- 2 ISVは、課金や他のバックオフィスの操作上の過程などの様々な機能をサポートするために利用履歴データを使用することができます。また、サービス利用履歴データは、サービスの利用頻度や傾向などのプロダクトマネージャをサポートする情報を提供します。
- 3 ISVは、将来的に発展する市場を調査するために、Sentinel Cloudでの早くて簡単なサービスカタログでのビジネスインテリジェント機能を使用できます。Sentinel Cloudのプロテクト・ワンスでの複数配布機能により、ISVが新しいパッケージモデルを提供するためにそれらのサービスを再設計をする必要はありません。
- 4 また、ISVは所有する使用权とサービス利用履歴データにアクセスするための、最大限の利便性により、選択をすることが可能です。

### SafeNet Sentinel ソフトウェア収益化ソリューション

SafeNetは、世界中のソフトウェアベンダとテクノロジーベンダに、革新的で信頼できるソフトウェアライセンスングおよび権限管理ソリューションを25年以上も提供してきました。統合しやすく使いやすい、革新的な機能重視のSentinel®ソリューションファミリーは、規模や技術要件、組織構造を問わず、どんな組織に対しても固有のライセンス有効化、施行、管理要件を満たすように設計されています。

全体の収益性を向上させ、社内業務を改善し、競争力を維持し、顧客やエンドユーザとの関係を深めつつ、著作権侵害対策、IP保護、ライセンス有効化、ライセンス管理の課題すべてに対処できるのは、SafeNetしかありません。

SafeNetには、進化し続ける市況に対応するため、新たな要件に適応し新たなテクノロジーを取り入れてきた実績があります。世界中の25,000以上のお客様が、Sentinelを選択することは今日、明日、そしてその先のビジネスのやり方を発展させていく自由を手に入れることだと知っています。

インストールされたアプリケーション、埋め込みアプリケーション、クラウドアプリケーション用のSafeNetソフトウェア収益化ソリューションの完全なポートフォリオに関する詳細は、[www.safenet-inc.com/sentinel](http://www.safenet-inc.com/sentinel) をご覧ください。

評価サイト：[www.sentinelcloud.com](http://www.sentinelcloud.com)

### リンクサイト：

Sentinel Online [www.safenet-inc.com/sentinel](http://www.safenet-inc.com/sentinel)

Twitter [twitter.com/LicensingLive](https://twitter.com/LicensingLive)

LinkedIn <http://bit.ly/LinkedInLicensingLive>

YouTube <http://www.youtube.com/user/LicensingLive>

BrightTALK™

BrightTalk <http://www.brighttalk.com/channel/5572>

## 日本セーフネット株式会社

東京都港区新橋6丁目17番17号 御成門センタービル 8F

URL: <http://jp.safenet-inc.com/>

e-mail: [jp-info@safenet-inc.com](mailto:jp-info@safenet-inc.com)

TEL: 03-5776-2751 FAX: 03-3436-2236

記載されている会社名、製品名およびロゴは、各社の商標または登録商標です。カタログに掲載されている内容は、予告なく変更される場合があります。

©2012 SafeNet, Inc. All rights reserved. SafeNet and SafeNet logo are registered trademarks of SafeNet. All other product names are trademarks of their respective owners.